

石川工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語講読ⅠⅠⅠ	
科目基礎情報							
科目番号	15670		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	桐原書店編集部編著「AXEL Course e」（桐原書店）						
担当教員	紺谷 雅樹						
到達目標							
1. 基本的な語彙を身につけることができる 2. 身につけた語彙を含む英文を聴いて理解できる 3. 長文を読んで構成や主旨をつかむことができる 4. 既習の文法事項を長文の中で理解できる 5. 既習の文法事項を用いて単文を作成できる 6. 様々なタイプの文書から必要な情報を把握できる 7. TOEIC400点レベルの英語力を身につけることができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	基本的な語彙を身につけることができる。		基本的な語彙をほぼ身につけることができる。		基本的な語彙を身につけることが困難である。		
到達目標2	身につけた語彙を含む英文を聴いて理解できる。		身につけた語彙を含む英文を聴いてほぼ理解できる。		身につけた語彙を含む英文を聴いて理解するのが困難である。		
到達目標3	長文を読んで構成や主旨をつかむことができる。		長文を読んで構成や主旨をつかむことがほぼできる。		長文を読んで構成や主旨をつかむことが困難である。		
到達目標4	既習の文法事項を長文の中で理解できる。		既習の文法事項を長文の中でほぼ理解できる。		既習の文法事項を長文の中で理解するのが困難である。		
到達目標5	既習の文法事項を用いて単文を作成できる。		既習の文法事項を用いて単文をほぼ作成できる。		既習の文法事項を用いて単文を作成するのが困難である。		
到達目標6	様々なタイプの文書から必要な情報を把握できる。		ある程度のタイプの文書から必要な情報を把握できる。		様々なタイプの文書から必要な情報を把握するのが困難である。		
到達目標7	TOEIC400点を上回るレベルの英語力を身につけることができる。		TOEIC400点レベルの英語力を身につけることができる。		TOEIC400点レベルの英語力を身につけることが困難である。		
学科の到達目標項目との関係							
本科学習目標 1 本科学習目標 3 創造工学プログラム C1							
教育方法等							
概要	科学、生物、環境、文化など多様な分野の記事を通し、読解力や聴解力、語彙力、文法を含めた総合的な基礎英語力を培う。同時に、背景知識を得ることで、幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮できる力を育成する。また、実社会で使われている様々なスタイルの英文にふれ、実用的な場面での対応力を養う。これらの活動を通し、国際社会を多面的に考えることができる語学力と教養を身につけることを目標とする。						
授業の進め方・方法	予習とは、授業で扱う範囲において、自分が理解できる箇所と理解できない箇所を明確に区別して授業に備える作業である。授業では、自分が理解できなかった箇所を理解できるように努めてほしい。復習とは、正しい知識を確認し、その結果をフィードバックする作業である。この意味で、予習と復習は大切である。特に本講義に関しては、幅広い分野の題材を扱うため、各分野の話題に関する背景知識を深めるよう普段から意識すること。実力を養成するための自学習として図書館の多読多聴図書を利用すると良い。授業には辞書を持参すること。						
注意点	随時、予習・復習のための課題を与える。 長期休業中に自習課題を与える。 【評価方法・評価基準】 前期中間、前期末の各試験を実施する。成績の評価基準として60点以上を合格とする。 中間試験（40％）、期末試験（40％）、課題（20％）						
テスト							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lesson 01 子どもの失敗と親の向き合い方		時制、完了形、時・条件の副詞節を理解・運用できる。		
		2週	Lesson 01 子どもの失敗と親の向き合い方		時制、完了形、時・条件の副詞節を理解・運用できる。		
		3週	Lesson 02 トランス脂肪酸にご用心！		助動詞の表現、SVO＋to 不定詞の受動態、完了形の受動態、群動詞の受動態を理解・運用できる。		
		4週	Lesson 02 トランス脂肪酸にご用心！		助動詞の表現、SVO＋to 不定詞の受動態、完了形の受動態、群動詞の受動態を理解・運用できる。		
		5週	Lesson 03 テレビと幼児		不定詞の表現、自動詞＋to 不定詞、be ＋to 不定詞を理解・運用できる。		
		6週	Lesson 03 テレビと幼児		不定詞の表現、自動詞＋to 不定詞、be ＋to 不定詞を理解・運用できる。		
		7週	Lesson 04 日本とアメリカの秋田犬		動名詞の表現、分詞の表現、補語になる分詞、分詞構文を理解・運用できる。		
		8週	Lesson 04 日本とアメリカの秋田犬		動名詞の表現、分詞の表現、補語になる分詞、分詞構文を理解・運用できる。		
	2ndQ	9週	Lesson 05 カナダにおける公用語事情		倍数表現、様々な比較表現を理解・運用できる。		
		10週	Lesson 05 カナダにおける公用語事情		倍数表現、様々な比較表現を理解・運用できる。		
		11週	Lesson 06 現代社会のごみを調べる考古学		関係代名詞、関係副詞、関係詞の継続用法を理解・運用できる。		

		12週	Lesson 06 現代社会のごみを調べる考古学	関係代名詞、関係副詞、関係詞の継続用法を理解・運用できる。
		13週	Lesson 07 キャシー・ペイジの人生	関係代名詞を使った慣用表現、複合関係詞、what・as・than を使った関係代名詞を理解・運用できる。
		14週	Lesson 07 キャシー・ペイジの人生	関係代名詞を使った慣用表現、複合関係詞、what・as・than を使った関係代名詞を理解・運用できる。
		15週	前期復習	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	

評価割合

	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	20	0	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0